

お知らせ

立命館アジア太平洋大学
2018年12月18日 配信 APUリリース 2018-54

Shape your world
APU
Ritsumeikan
Asia Pacific University

一般参加可、限定30席！

パリ第八大学心理学部准教授 小坂井敏晶氏による特別講演を開催

1月11日(金) 10:00～ @F210教室

2019年1月11日(金) 10:00-12:00に、立命館アジア太平洋大学(APU)のF210教室にて、パリ第八大学心理学部准教授の小坂井敏晶氏が、「常識を見直す難しさ多様性の役割を再考する」と題した特別講演を実施します。18年8月にAPU東京オフィス(東京都千代田区)で行った際には、わずか3日間で定員の120名に達するなど、大盛況となりました。ぜひ、この機会にご参加ください。

概要

- ◇講演：「常識を見直す難しさ多様性の役割を再考する」
- ◇講師：パリ第八大学心理学部准教授 小坂井敏晶氏
- ◇日時：2019年1月11日(金) 10:00(開場9:30、終了12:00 予定)
- ◇場所：F210 教室
- ◇人数：一般30名(※予約制、APU在学生は予約不要)
- ◇言語：日本語
- ◇内容：常識の疑問視から思索の第一歩が始まる。だが、それが最も難しい。「変われば変わるほど、元のまま」というフランスの諺がある。システム内部の要素が変わるだけで、システムの構造は変化しない。考え方自体を覆すためには、どうしたら良いのか。多様性に富むAPUの環境は常識の再考に適している。だが、多様性の効用は学問やビジネスでの創造性に限らない。人文学や社会科学の使命は何か。多数派の世界観を揺るがし、開かれた社会を守る砦として大学は機能できるか。
- ◇応募：APUの公式ウェブサイトイベント情報欄の「特別講義『常識を見直す難しさ 多様性の役割を再考する』」内、専用サーベイより。(定員に達し次第申し込み終了)
http://www.apu.ac.jp/home/event/view/?event_id=1780

講演者 小坂井敏晶(こざかい・としあき) プロフィール

パリ第八大学心理学部准教授。1956年愛知県生まれ。アルジェリアでの日仏技術通訳を経て、1981年フランスに移住。早稲田大学中退。1994年パリ社会科学高等研究院修了。社会心理学博士。著書に『増補 民族という虚構』(ちくま学芸文庫)、『責任という虚構』(東京大学出版会)、『人が人を裁くということ』(岩波新書)、『社会心理学講義』(筑摩書房)、『答えのない世界を生きる』(祥伝社)、『神の亡霊 近代という物語』(東京大学出版会)など。